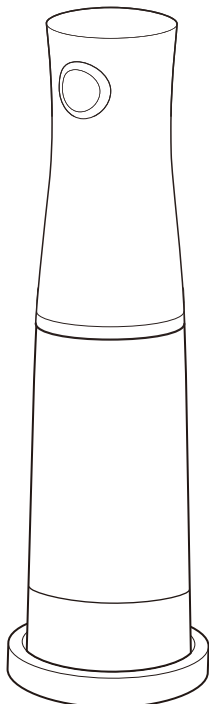


電動ふわふわとろ雪スティックかき氷器 DHCI-B5

取扱説明書・保証書



このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあとでもいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意 P. 1 ~ 2
各部の名称とはたらき P. 3
準備 P. 4 ~ 5
正しい使いかた P. 6 ~ 10
お手入れと保存 P. 11
修理・サービスを依頼する前に P. 12
アフターサービスについて 裏表紙
保証書 裏表紙



仕 様

品 名	電動ふわふわとろ雪スティックかき氷器
型 番	DHCI-B5
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	11W
定格時間	2分
安全装置	感知スイッチ
製品サイズ	(約)直径9.0×高さ35.5cm (スタンド含まず)
質 量	(約)0.75kg (スタンド含まず)
コードの長さ	(約)1.3m
付属品	取扱説明書・保証書×1、レシピ×1、ブラシ×1、スタンド×1、ふた付き製氷カップ(SSサイズ)×2



- 定格電圧・定格周波数・定格消費電力・定格時間は、製品本体に記載しております。
- 仕様などは改善改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)



図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

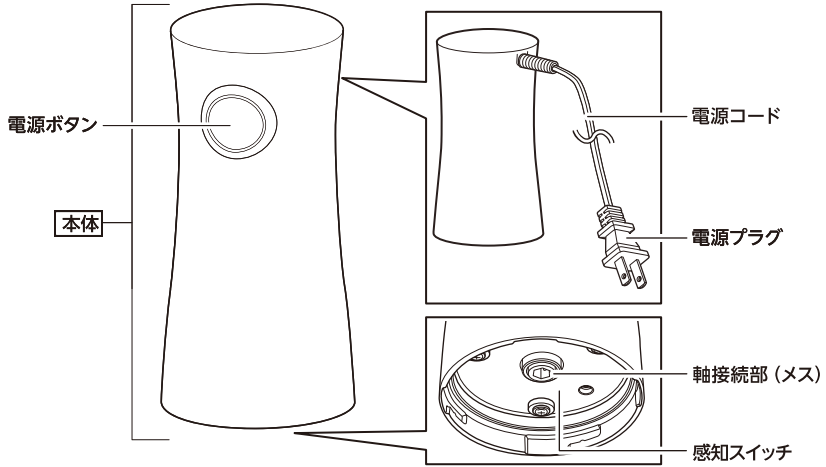
警告

	交流100V以外で使わない。 感電・けが・ショート・故障・破損の原因になります。		電源プラグの刃及び刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。	指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。 感電・ショートの原因になります。
 禁止		 プラグを抜く	使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。
	乳幼児だけで使わせたり、手の届くところでは使用しない。 けが・感電の原因になります。	 分解禁止	製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
本体のすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。	
雷が鳴りだしたら、電源プラグにふれない。 感電の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。	
 使用禁止		 禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
 指示			

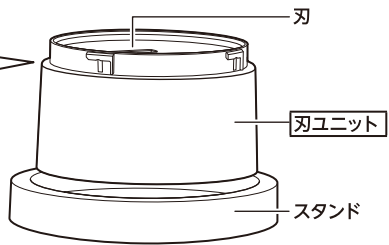
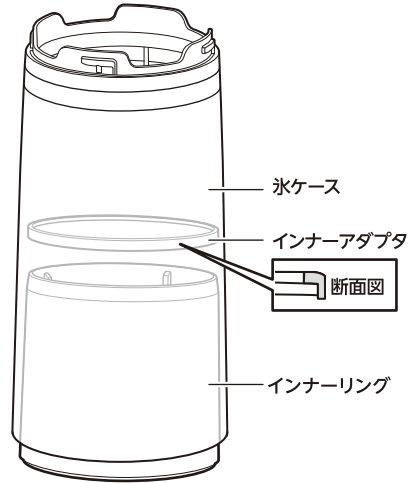
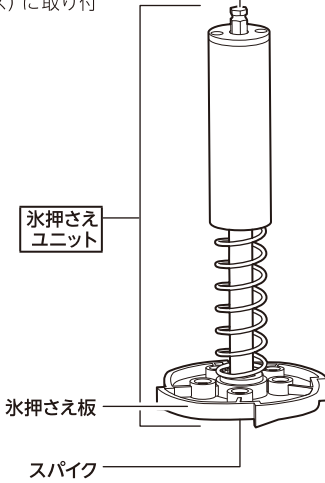
⚠ 注意

 <p>禁止</p>	<p>業務用として使用しない。調理目的以外の使いかたをしない。 家庭用として設計されているため、故障の原因になります。</p>	 <p>禁止</p>	 <p>40℃以上のお湯で洗わない。 変形・変色の原因になります。 本体は洗えません。</p>
	<p>変形や破損など異常があるときは使用しない。 感電の原因になります。</p>		 <p>刃は鋭利なので、直接手をふれない。 けがの原因になります。</p>
	<p>タコ足配線はしない。 火災の原因になります。</p>	 <p>指示</p>	 <p>連続して氷を削る場合は、必ず30秒以上時間をあける。 モーター故障の原因になります。</p>
	<p>次のような場所では使用しない。 ●水や油のかりやすいところ。 ●湿気の多いところ。 ●火気の近く。 ●直接日光が長時間当たるところ。 ショート・感電のおそれ、変形・故障の原因になります。</p>		<p>お手入れのときは、シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・金属たわし・住宅用洗剤などを使わない。 変色・変形の原因になります。</p>
	<p>テーブルの端などに置かない。 落下して、故障やけがをする原因になります。</p>	 <p>禁止</p>	<p>食器洗浄機・食器乾燥機を使用しない。 変形・変色の原因になります。</p>
	<p>テーブルや机以外の場所では使用しない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</p>		<p>製氷カップを加熱したり、電子レンジに入れたりしない。 破損の原因になります。</p>
	 <p>落としたり、製品に強い衝撃を与えない。 感電・けが・故障・破損の原因になります。</p>		
	 <p>氷を入れた状態で、本体を逆さまに持ったり、置いたりしない。 故障や感電の原因になります。</p>		
	 <p>専用の製氷カップ、市販の製氷皿でつくるバラ氷や冷凍フルーツ以外のものは氷ケースに入れない。 (大きな氷や市販のかたいバラ氷は入れない。) 破損、故障の原因になります。</p>		
	 <p>使用後は軸接続部にさわらない。 熱くなっている場合があり、やけどの原因になります。</p>		
 <p>スパイクにさわらない。 けがの原因になります。</p>			

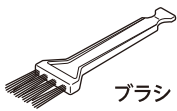
各部の名称とはたらき



軸接続部 (オス)
 本体の軸接続部
 (メス) に取り付
 ける



付属品



ふた付き
 製氷カップ
 SSサイズ
 (2個)

レシピ

取扱説明書・保証書

準備

●製品の準備

1. 本体より下の部分を十分に洗って乾かす

「お手入れと保存」を参考に分解して十分に水洗いして十分に乾かします。



警告 本体は水洗いしない、水につけない。
感電・火災・故障の原因になります。

2. 本体の軸接続部（メス）に、氷押さえユニットを取り付ける①

軸接続部（オス）の形状を確認し、軸接続部（メス）に取り付けます。カチッとした手応えがあり、容易に氷押さえユニットがはずれなくなります。

3. 氷ケース内にインナーアダプタを取り付け②、インナーリングに入れる③

氷ケースの下方から、インナーアダプタの形状を確認し、インナーアダプタを取り付けます。その上からインナーリングを取り付けます。

4. インナーリングを入れた氷ケースに、刃ユニットを取り付ける④

刃ユニットを氷ケースにはめ込み、右（時計方向）に回して固定させてください。



注意 刃やスパイクにはふれない。
鋭利なため、けがの原因になります。

●付属品（製氷カップ）の準備

1. 付属のふた付き製氷カップを十分に洗う

特に初めて製氷カップを使用するときは、十分に洗ってください。



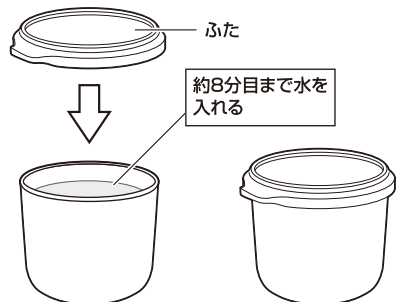
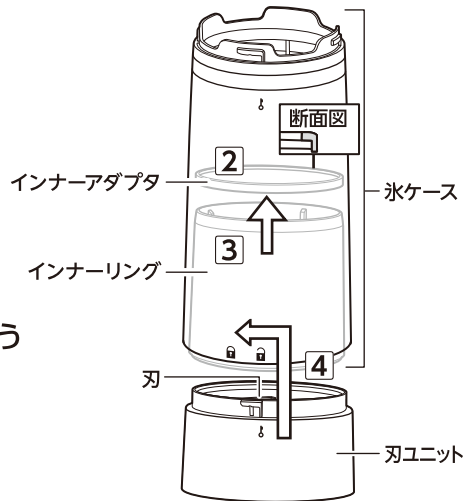
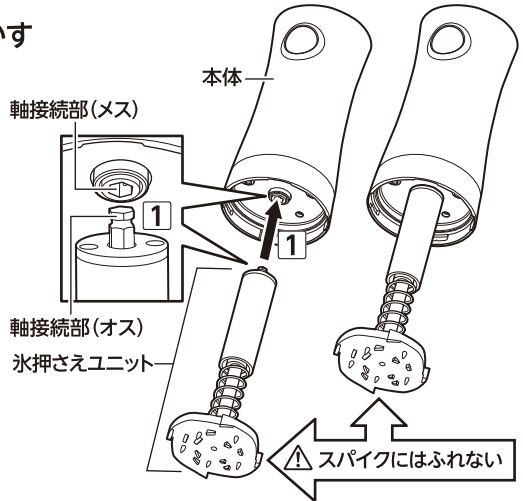
注意 製氷カップを洗うときは、食器洗浄機、食器乾燥機を使用しない。
変形などの原因になります。

2. 水を製氷カップの約8分目まで入れ、ふたをして冷凍庫に入れる

- 量が多いと製氷カップの氷が取り出しにくくなります。
- 氷の厚みが増すことで本体をセットする際にパネの抵抗が強くなりセットしにくくなります。
- 製氷カップは安定するように平置きで冷凍庫に入れてください。
- 斜めに凍らせた氷を本体にセットすると、氷が削れません。また、スパイクベースに負荷が掛かって破損する場合があります。
- 製氷時に積み上げると倒れる可能性があります。



注意 製氷カップに水を入れすぎない。
製氷カップ破損の原因になります。



準備(つづき)

《プリン氷を作る場合》

⚠ 注意

プリンは卵、牛乳、砂糖を使用した洋菓子のことを指します。市販のプリンの中には、ゼラチン、寒天、増粘多糖類を使用している商品があり、それらの量によっては、スパイクが空回りし、削れない場合があります。アラモード、スポンジケーキなどプリンの中に、かたい固形物や、粘り気の強いものが使用されていないことを確認の上凍らせてください。

2. プリンを製氷カップの約8分目まで入れ、ふたをして冷凍庫に入れる

スプーンですくったプリンを製氷カップに約8分目程度まで入れて、スプーンの皿裏で表面を平らにしてふたをして冷凍庫に入れてください。

表面がななめになったりするときれいに削れません。



⚠ 注意

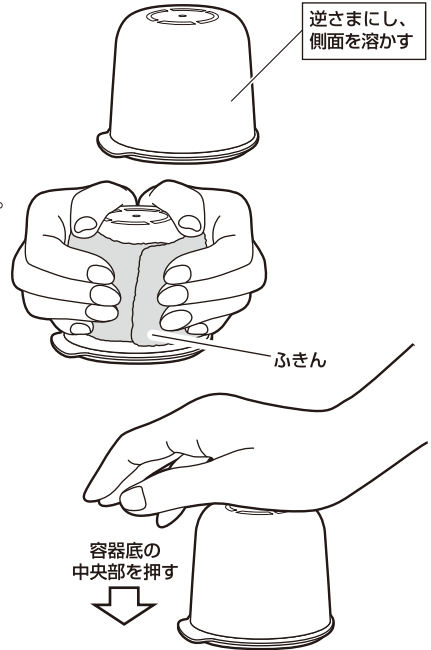
製氷カップにプリンを入れすぎない。
製氷カップ破損の原因になります。

※水・プリン以外のものを氷にするときは、付属のレシピをご参照ください。

3. 水・プリンが凍ったことを確認したら、ふたをはずして氷を取り出す

使用するときには、ふたをはずして製氷カップの底面を押して、氷を取り出します。

- 氷が取り出しにくいときは製氷カップを逆さまにし、カップの外側を温め、少し溶かすと取り出しやすくなります。(ふきんなどを巻いて温めると早く取り出せます。)
- 容器底の中央部を押すと氷がふたに落ち、取り出しやすくなります。



⚠ 注意

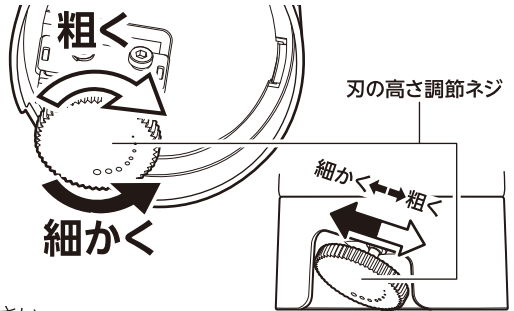
- 冷凍庫から取り出したばかりの氷に直接ふれない。皮膚が氷に密着し、けがの原因になります。
- 氷を製氷カップから取り出すときに、たたきつけたりしない。製氷カップの破損の原因になります。
- できた氷はできるだけはやく使用する。氷をストックしておくことができますが、時間が経過すると霜が付き、かき氷に適した氷ではなくなります。
- 取り出せない場合は、しばらく自然解凍してください。

正しい使いかた

●氷を削る



- テーブルや机以外の場所で使用しない。
- 乳幼児だけで使わせたり、手の届くところで使用しない。
- 本体に氷ケースを取り付けるまで、電源プラグをコンセントに差し込まない。



1. 刃の高さ調節ネジを回して、最も細かい設定にする

刃ユニットにある刃の高さ調節ネジを反時計方向に回して、最も細かい設定にしておいてください。

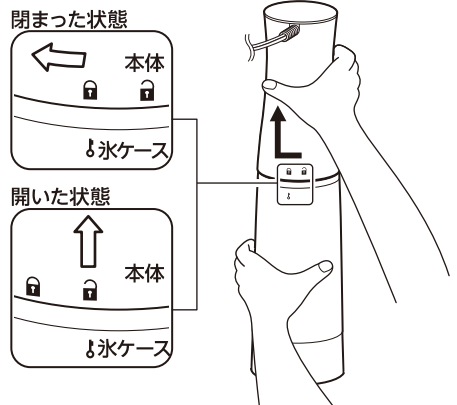


- 刃やスパイクにはふれない。
鋭利なため、けがの原因になります。

2. 本体から氷ケースをはずす

水平なテーブルなどの上に置きます。片手で氷ケースをしっかりと押さえながら、もう一方の手で本体を時計回りへ回し、本体の🔒印を氷ケースの🔑印に合わせて、本体を引き上げて氷ケースをはずしてください。

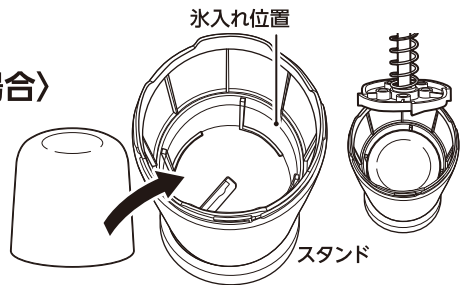
※ けがをしないように、スパイクには十分注意してください。



3. スタンドの上に氷ケースを置き、①製氷カップで作った氷、②市販の製氷皿でつくったバラ氷、③冷凍フルーツ、④プリン氷のいずれかを氷ケースに入れる。

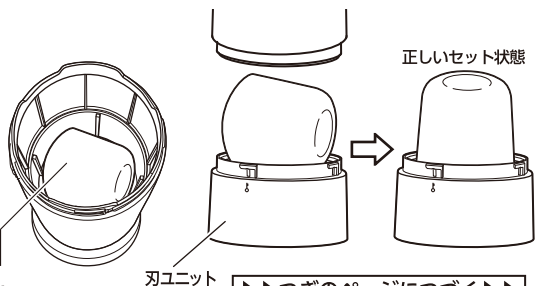
〈①製氷カップでつくった氷を使用する場合〉

氷が横になって引っかかった場合は、氷ケースを振って入れてください。それでも正しく入らない場合は刃ユニットを取りはずして、刃ユニットに氷を置いて氷ケースに取り付けてください。



- 必ず氷ケース内で表面を平らにしてから本体を取り付ける。
本体がしまらない場合があります。
- 本体を逆さまにしない。
本体内部に水が入り、故障の原因になります。
- アルコールを入れた氷は使用しない。

氷が横になっている



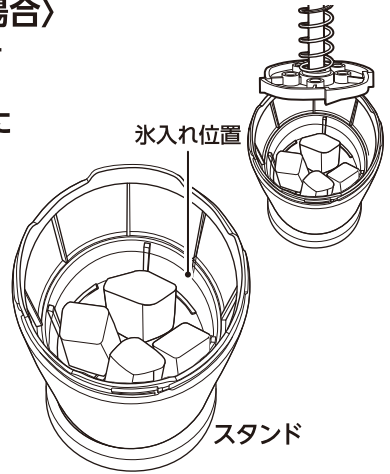
正しい使いかた (つづき)

〈②市販の製氷皿でつくったバラ氷を使用する場合〉

氷(市販の製氷皿で作る氷もしくは自動製氷機能付冷蔵庫で作った氷)をインナーリングの氷入れ位置(インナーリングの上から1.5 cm下)を超えないように入れてください。



- 必ず氷ケース内で表面を平らにしてから本体をセットしてください。
本体がしまらない場合があります。
- 大きな氷、市販のかたい氷は使用しないでください。
故障の原因となります。
- アルコールを入れた氷は使用しないでください。
- 本体を逆さまにしないでください。
本体内部に水が入り故障の原因となります。
- インナーアダプタ・インナーリングを必ず使用し、正しく削る。



〈③冷凍フルーツを使用する場合〉

冷凍フルーツをインナーリングの氷入れ位置(インナーリングの上から1.5 cm下)を超えないように入れてください。

刃ユニットを取り付けた氷ケースがスタンドにしっかりとのっていることを確認してください。底面が見えにくくなるまで冷凍フルーツをまんべんなく入れてください。



- 冷凍フルーツは市販で売られている一口大サイズを削る。
- みかんがまるごと冷凍されているものは使用しない。
- 厚い皮がついたままのフルーツは使用しない。
- 冷凍フルーツは少ない量で使用しない。
スパイクが空回りして削れない場合があります。
- インナーアダプタ・インナーリングを必ず使用し、正しく削る。
- 氷ケースに表示されている氷線以上で使用しない。



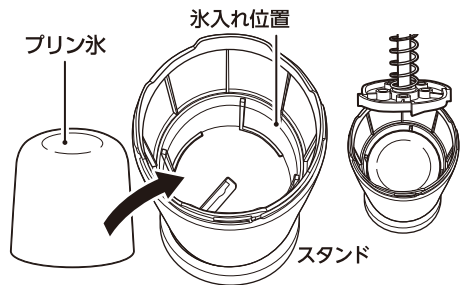
〈④プリン氷でつくった氷を使用する場合〉

製氷カップで作ったプリン氷の平らな面を下にして氷ケースに入れる。

刃ユニットを取り付けた氷ケースがスタンドにしっかりとのっていることを確認してください。



- 必ず氷ケース内で表面を平らにしてから本体を取り付ける。
本体がしまらない場合があります。
- 本体を逆さまにしない。
本体内部に水が入り、故障の原因になります。
- アルコールを入れた氷は使用しない。
- 製氷カップにプリンを入れすぎない。
製氷カップ破損の原因になります。
- 氷を製氷カップから取り出すときは、たたきつけない。
破損のおそれがあります。

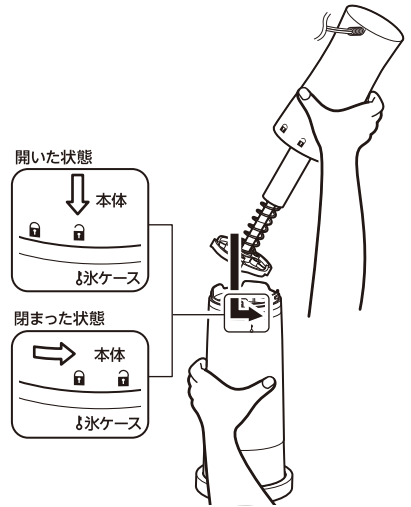
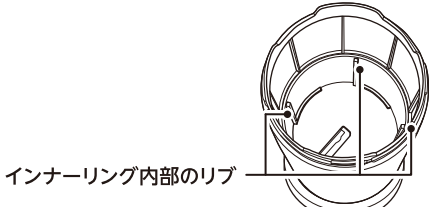


正しい使いかた (つづき)

4. 本体に氷ケースを取り付ける

氷ケースが水平なテーブルなどの上をしっかりとのっていることを確認してください。

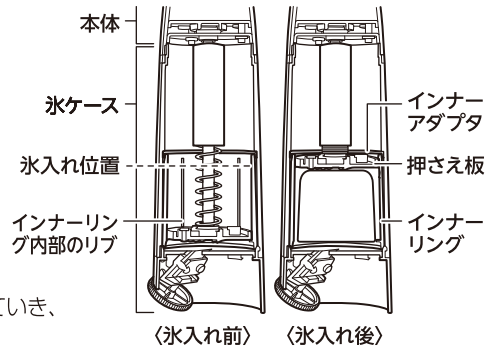
- 図のように氷ケースを握り、本体を上から強く押し込みながら、本体の **🔒** 印を氷ケースの **🔓** 印に合わせ、反時計回りに回し **🔒** 印の位置までカチッと音がするまで回してロックしてください。
※ 本体を氷ケースに取り付ける際は、インナーリング内部のリブに引っかからないよう注意してください。



5. 電源プラグをコンセントに差し込む



- **ぬれた手で電源プラグを持たない。**
危険ですので、電源プラグは必ず乾いた手で持ってください。
- **コンセントから離れている場合は延長コードを使用する。**
タコ足配線にならないようご注意ください。



6. 電源ボタンを押して氷を削る

- 本体に氷ケースを両手でしっかりと持ち、器の上に持っていき、電源ボタンを押してください。
- 電源ボタンを押さないと作動しません。
また、本体に氷ケースを取り付けていない状態では作動しません。
- 電源ボタンから指を離すと停止します。
※ 氷がなくなっても自動で止まりませんので、電源ボタンから指を離して停止させてください。
- ※ アルコールを含んだ氷を削らないでください。
- ※ グラスなど口径の小さい器に氷を削るときは、ぬれても良い場所か、グラスの下にふきんなどを敷いて削ってください。
- ※ はじめの削り出しと氷の量が少なくなるとふわふわの削りかたができません。刃の高さ調節ネジで調節するか氷を交換してください。
- 市販の製氷皿でつくるバラ氷や冷凍フルーツは付属の製氷カップでつかった氷と比べてふわふわの氷になりにくくなります。

正しい使いかた (つづき)

市販の製氷皿でつくるバラ氷や冷凍フルーツを削り中に発生することがある現象

- 内容物が引っ掛かりガタガタという大きな音がして止まることがありますが故障ではありません。
- 内容物が少なくなり、刃に当たる面がなめらかになって削れる量が少なくなることがあります。

対処方法

どちらの現象も、一旦電源ボタンを離して再度押してみてください。それでも直らないときは、以下の方法を繰り返しお試しください。

- ①本体から氷ケースを一旦はずす。
- ②氷ケースを振って内容物を動かしたり、内容物を1個減らしたりする。
- ③再度取り付けて電源ボタンを押す。



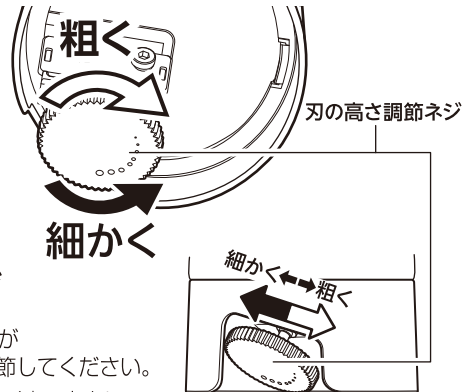
⚠注意

- 2分以上連続運転をしない。
 - 連続運転をするときは、30秒以上時間をあける。
 - 連続運転は6回までとし、そのあとは1時間以上の時間をあける。
- 連続運転を続けると、モーター故障の原因になります。

できあがりの細かさ・粗さの調節

刃ユニットにある刃の高さ調節ネジを回転させて、細かさ・粗さを調節できます。

1. 刃の高さ調節ネジを右図のように下から見上げるように見て、反時計回りに最後まで回して「細かく」設定しておきます。
2. 氷を削りながら、刃の高さ調節ネジをゆっくりと時計回りに回して「粗く」していきましょう。
3. お好みの粗さで削れるようになったら、刃の高さ調節ネジを回すことをやめて、そのまま削ってください。
 - 氷が少なくなり、刃に当たる面がなめらかになって削れる量が少なくなったりしたときは再度少しずつ「粗く」の方向に調節してください。
 - 氷が引っかかりガタガタという大きな音がしたときは「細かく」の方向に調節してください。
 - 氷の状態により削り具合は変化しますので、必要に応じて氷を削りながら調節してください。一定の位置で削れない場合があります。



削るのを中断するときは、スタンドに立てておきます。

- ※ 放置時間が長いと氷が解けて、スタンドに水がたまりまますのでご注意ください。
- ※ 調節ネジを強く回しすぎると、回らなくなることがあります。

正しい使いかた (つづき)

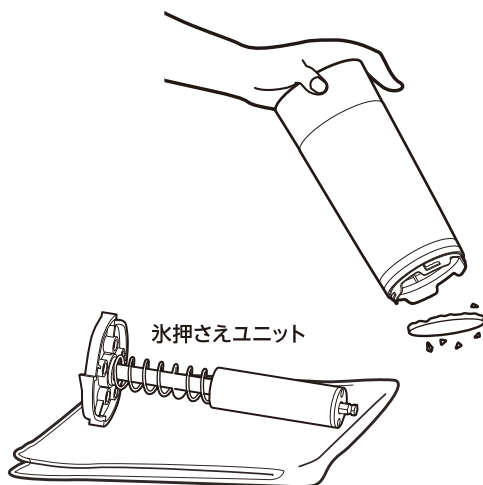
7. 本体をはずし、氷ケースの氷を捨てる

※ 構造上、氷ケース内に氷が残りますが故障ではありません。

続けて氷を削るときは、氷ケース内に残っている氷は、必ず捨ててください。残ったまま新しい氷を入れると空回りして削れません。

⚠ 注意

- 使用後は、電源プラグをコンセントから抜く。
- 使用後は、本体に付着した水が垂れるため、ふきんなどに上において、水切りをする。
- 絶対に本体を逆さまにしない。
本体内部に水が入り故障の原因になります。
- 連続して氷を削る場合は、必ず30秒以上時間をあける。
- 使用後は軸接続部にさわらない。
熱くなっている場合があり、やけどの原因になります。
- 氷押さえユニットは、引き抜くようにして取りはずす。
回すと軸接続部(オス)が取れてしまう原因になります。



お手入れと保存



お手入れのときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電・けが・やけどの原因になります。





お手入れのときは、シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・金属たわし・住宅用洗剤などを使わない。
変形、変色の原因になります。

《水洗い禁止》本体



本体は水洗いしない、水につけない。
感電・火災・故障の原因になります。

1. 本体から氷ケースをはずす

平らな場所に置き、片手で氷ケースをしっかりを押さえながら、もう一方の手で本体を右(時計方向)へ回し、本体の  印を氷ケースの  印に合わせて、本体を引き上げ氷ケースからはずしてください。

2. 本体から氷押さえユニットをはずす



氷押さえユニットは、引き抜くようにして取りはずす。
回すと軸接続部(オス)が取れてしまう原因になります。

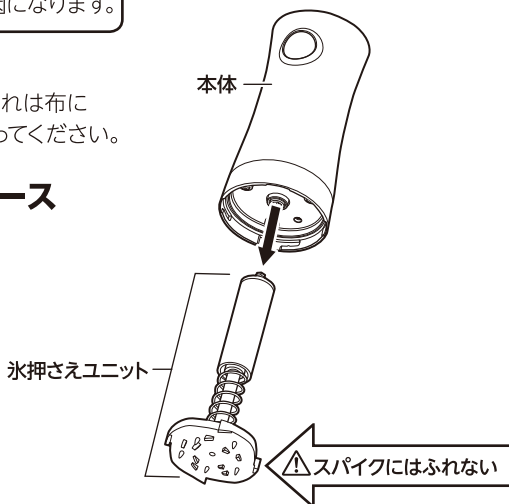
3. 本体を乾いた布で拭く

完全に乾いた状態で保存してください。落ちない汚れは布に中性洗剤を湿らせて、よくしぼってから軽く拭き取ってください。

《水洗い可能》氷押さえユニット・氷ケース インナーアダプタ・インナーリング 刃ユニット・スタンド・製氷カップ

1. スパイク、刃の汚れや水分を落とし、完全に乾燥させる

- 氷ケース・インナーアダプタ・インナーリング・刃ユニット・スタンド・製氷カップそれぞれを水洗いしてください。
- 汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた中性洗剤を使用して必ずきれいに洗ってください。



氷押さえユニットは水没させない。



- 刃部分は直接手でふれない。
お手入れは付属のブラシを使用してください。
- 刃の固定ネジをゆるめたり、取りはずしたりしない。
けがの原因になります。
- 刃ユニットを取りはずすときは、刃にふれないように十分注意する。

2. 乾かしたあとにサビ防止のために刃に食用油を塗って保存する

サビ防止のため、刃に食用油を塗っておきます。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源ボタンを押し ても作動しない	電源プラグが抜けている	電源プラグをしっかり差し込む
	氷ケースが正しく本体に取り付けられていない	氷ケースを正しく本体に取り付ける ※本体のみでは作動しません
音はするが氷が削 れない	氷が氷ケースに入っていない	氷を氷ケースに入れる
	氷ケース内に削れずに残った氷がある	氷を入れ替える
	インナーアダプタ、インナーリング を氷ケース内に取り付けていない	氷ケース内にインナーアダプタ、インナーリングを取り 付ける
	氷が氷ケース内に引っかかっ ている	箸などでかき回す
	刃を出しすぎて氷がロックしている	電源ボタンを離して再度押してみる それでも直らない場合は本体から氷ケースをはずし ・氷ケースを振って氷を動かす ・刃の調節ネジを回して調節する 氷ケースを本体に取り付けて電源ボタンを押してみる ・刃ユニットを取りはずして、氷を置き直す ・内容物の量を調節する
	氷押さえ板が空回りしている	
氷が横になっている		
氷を削るスピード が遅い	氷が少なくなったり、刃に当たる面 が、なめらかになっている	
途中で止まって しまう	内容物がロックしている	
	長時間使用している	使用をやめて、本体を30分以上休ませる
冷凍フルーツが削 れない	冷凍フルーツの量が少なくなっ ている	刃ユニットを取り付けた氷ケースの底面を埋めるよう に入れる量を増やす
	冷凍フルーツのサイズが大きすぎる	冷凍フルーツは市販で売られている一口大サイズのものを使用する
	冷凍フルーツが氷ケースに 引っかかっている	箸などでかき回す
本体が熱い	長時間使用している	使用をやめて、本体を30分以上休ませる
氷ケースを本体に 取り付けができない	氷の表面が斜めになっている	氷の表面をできるだけ平らにする
	インナーアダプタ、インナーリング の向きが正しくない	上下の方向を確認し、正しく氷ケースを本体に取り付 ける

長年ご使用の製品はよく点検を

このような症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したり、しなかつたりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはお客様相談室にご相談ください。

アフターサービスについて

●製品の保証について

1. この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間はご購入の日から 1 年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は販売店またはお客様相談室にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●修理を依頼されるときは

▲警告

- ・故障のときは、ただちに使用をやめて、電源プラグをコンセントから取りはずし、ご購入の販売店にこの製品をお持ちのうえ修理をお申しつけください。
- ・ご自分での修理はしないでください。大変危険です。

アフターサービスについてわからないことは…
ご購入の販売店、またはお客様相談室にお問い合わせください。

●補修用性能部品について

1. 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
2. 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 2 年間です。

お問い合わせ

お客様サポート

<https://www.do-cooking.com/support/>



製品情報に関するお問い合わせ

よくあるご質問

製品・パーツ購入のご案内
※製品によっては、パーツ販売していません。

お客様の声(アンケート)

【電話でのお問い合わせ】

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、弊社お客様相談室までご連絡ください。

株式会社 **ドウシシャ** www.doshisha.co.jp

お客様相談室 **0120-104-481**

【受付時間】 9:00~17:00 祝日以外の月~金

※製品、お音で確認の上、お電話をいただきますようお願いいたします。
※お電話をいただいた際にお話ししたく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

【修理品の送付先】

〒915-0801
福井県越前市家久町41-1

株式会社ドウシシャ
福井カスタマーセンター